

おち町

No.129

2019 (R1) 8/1
高知県越知町議会

議会だより OCHI TOWN



ねがいごとはなあに 7/6 (3面参照)

6月定例会

4P まち・ひと・しごと創生総合戦略検証・評価

11P 森林環境譲与税基金条例の制定

14P 光通信環境整備など5人が問う (一般質問)

議会です
こんにちは

連載：若者登場⑧

122号から若者に焦点を当て、インタビュー記事を掲載しています。今回は高知西高校の北川さんと高知工業高校の山本さんに、お伺いしました。



山本楓さん
(高知工業高校3年 越知甲)

北川巧さん
(高知西高校3年 越知甲)

問 部活と成績は。
北川 サッカー部で、県体はベスト8でした。12月の選手権に向けて練習しています。
山本 空手部で、県体は個人3位、団体は2位でした。
国体予選が2位だったので、9月に四国大会に出ます。

問 進路は。
山本 高知工業の建築科を卒業後は、県内就職を希望しています。
北川 県外の経済学部への進学進学を希望しています。

問 友達同士で越知の話は。
北川 コスモスマつりは有名なので話したりします。

問 越知に帰ってきますか。
山本 仕事があれば、親もいるので、越知に帰ってきたい。
北川 越知はすごく好きなので、帰ってきたいと思うんですけど、まだ将来のことは分からない。

議会を傍聴しませんか
6月定例会の傍聴者は延べ3人でした。次の定例会は9月6日開会の予定です。大勢の傍聴をお待ちしています。



問 越知に住みたいと思うようなアイデアはないか。
北川 コスモスマつりは短期的なものなので、若者も興味を持てるような長期的なものがあったらいいと思います。
山本 小さい子どもも遊ぶことができるシンボリックな場所があるといいと思います。

問 越知のホームページをのぞいたことは。
山本 あまりないです。
北川 ないです。

問 選挙は。
山本・北川 18歳になったら行ってみようと思います。

* 本日は、クラブ活動などでお忙しい中、お話を聞かせていただきありがとうございます。目標に向かって学生生活を楽しんでください。(取材班)

編集後記

梅雨入り後は連日の大雨で、農産物への被害など、昨年7月の西日本豪雨災害が思い出されます。
今議会でも、議会改革に継続的に取り組むため議会改革推進会議を設置し、目的が達成されたか1年ごとに検討することを明記しました。
議会の総意で基本条例の一部改正ができたことは、議会改革を進めるうえで大きな前進であります。
これからも議会活動を分かりやすくお伝えし、町民の皆様の声を町政に反映させるよう一層の努力を重ねてまいります。

《森下》

編集・発行責任者	議長 長寺村 晃幸
議会広報常任委員会	委員長 市原 静子
	副委員長 高橋 文一
	委員 小田 範博
	委員 森下 安志
	委員 箭野 久美

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。

4P まち・ひと・しごと創生総合戦略検証・評価

議案質疑

8P 町内ネットワーク簡易設計業務など

こんなことが決まったぜよ

11P 森林環境譲与税基金条例

一般質問5人が登壇

- 市原静子議員 (移動期日前投票所、「8050問題」など)
- 武智 龍議員 (光通信、小規模農業の支援、人材育成など)
- 14P ○箭野久美議員 (少子化対策、老朽化した公共施設)
- 高橋丈一議員 (教育行政、観光行政、環境行政)
- 山橋正男議員 (幼稚園授業料・保育料、かわの駅おちなど)

20P 交流・視察研修報告

○滝上町○栗山町○厚真町

23P 広域議会

議会ですこんにちは

24P 連載：若者登場⑧

今号の表紙



恒例の幼稚園の夕涼み会は、園児の太鼓や踊りなどで賑わいました。

県道18号 緊急要望

13面に関連記事



5月26日にサイクルイベント「第2回高知仁淀ブルーライド」が実施され、546人が仁淀川流域を駆け抜けた。
 ショートコースには249人が参加。浅尾沈下橋を渡る参加者からは、仁淀川の美しさに歓声が聞こえ、休憩ポイントの宮の前公園では、おちカツサンドや小夏ドリンクなどで一息ついた。
 キャンプ場やイベントなどで県道18号は利用客が多くなっており、本格改良までの間、待避所、落石対策等の緊急整備が急がれる。

6月定例会は、7日から11日まで開き、森林環境譲与税基金条例の制定【11面に関連記事】、令和元年度一般会計補正予算など8件と、国保税条例の一部改正など専決処分6件を全会一致で可決・承認し、人事案件1件を同意しました。
 議員提案の議会基本条例の一部改正【12面に関連記事】、新たな過疎対策法の制定に関する意見書、県道18号緊急落石対策についての要望書【13面に関連記事】の3件を全会一致で可決し、一般質問は5人が登壇し、光通信や幼保再編整備などについて執行部の考えをたずねました。

一般会計補正4億7320万円

令和元年度補正予算

会計名		補正額	総額
一般会計		4億7320万円	45億8275万円
特別会計	下水道	522万円	1億7683万円
	国民健康保険	24万円	7億1696万円
	介護保険	0万円	10億8900万円

賛成全員で可決

総合戦略を

検証・評価

7月16日に、町幹部職員を交え全員協議会を開き、まち・ひと・しごと創生総合戦略「おち家の挑戦」の30年度の取り組み状況について、検証・評価を行った。



創生総合戦略の検証・評価を行った全員協議会

まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標の達成状況

基本目標	数値目標	出発点	目標値（令和元年度）
【基本目標1】 地域資源を活かし雇用を創出	新規就農者数		13人
	林業従事者数		8人増加
	新規起業者数		5人
	観光入込客数	7.7万人 (暦年：26年)	10%以上増加 (暦年：31年)
【基本目標2】 新しいおち家の家族をつくる	人口の社会移動		50人の社会増
【基本目標3】 若い世代・子育て世代の希望をかなえ、住みたい・住み続けたいまちづくり	合計特殊出生率	1.44 (22年～24年)	1.64
【基本目標4】 越知の未来を担う人づくり	15歳～39歳の人口 (住民基本台帳)	1,066人 (総人口に対する割合17.7%)	950人
【基本目標5】 安心していつまでも暮らし続けられる地域づくり	集落活動センター 開設		2カ所

27年度	28年度	29年度	30年度	累計
4人	2人	3人	1人	10人
0人	2人増加	1人増加	0人	3人増加
0人	2人	2人	1人	5人
7.3万人(5%減少) (暦年：27年)	7.2万人(6%減少) (暦年：28年)	7.2万人(増減なし) (暦年：29年)	8.0万人(11%増加) (暦年：30年)	-
25人増	8人減	56人減	20人減	59人減
1.74	1.26	1.49	集計中 (県)	-
1,073人 (総人口に対する割合17.9%)	1,034人 (総人口に対する割合17.7%)	997人 (総人口に対する割合17.4%)	980人 (総人口に対する割合17.5%)	-
0カ所	0カ所	1カ所	0カ所	1カ所

日本製

育児環境
ミルクはどこ製か

箭野議員 育児環境の整備で、育児用ミルク320食とあるが、どこ製か。賞味期限が近づいたらどうしているか。

上田危機管理課長 日本製。明治のほほえみらくらくキューブという商品である。約1年しか持たないの



備蓄されている育児用ミルクとジャバラ式ほ乳ボトル

熱中塾

入塾生を増やす方法

森下議員 熱中塾へ町内の入塾生が少ないが、増やす方法やPR方法を考えているか。

入塾生を通して呼びかけ

大原企画課長 具体的な策はない。入塾生を通して町内の方への呼びかけと、SNSを通して広く知ってもらい入塾を進めていく。



その道のプロの話を真剣に聞く塾生

チャレンジショップ

商工会の協力は

市原議員 商店街チャレンジショップ認知度が低い

利用してもらえようように周知

大原企画課長 商工会青年部の総会で、どういった建物であるか、活用方法を説明している。

田村産業課長 商工会には、中心市街地活性化計画の会で、起業したい人に、「おちぞね」を利用してもらうように周知している。



今日は廣瀬隊員が駐在している「おちぞね」

30歳の成人式

県外の参加者が少ないのでは

箭野議員 30歳成人式のネーミングを考える提案と、県外の参加者が少ないのでは。

参加しやすい日程を考えている

大原企画課長 ネーミングは、参加者の意見を聞いて検討してみる。年末年始に帰ってきた人も参加しやすい日程を考えている。

集落支援員

給与と募集要領は

箭野議員 集落支援員の給与と募集要領は。

大原企画課長 地域おこし協力隊と同じ額で16万5000円である。募集はしていない。地域の目的によって、適任者をお願いしている。

生産者の高齢化

取り組みは

岡林議員 薬用作物生産者の高齢化の取り組みは。田村産業課長 新規就農者に葉草栽培を薦め、新たに地域おこし協力隊も募集している。

6次産業化

取り組みは

箭野議員 6次産業化に対する取り組みは。田村産業課長 新しい商品開発に取り組んでいく。



かわの駅おちで販売されている

学力向上

児童・生徒に対する取り組みは

市原議員 学力の低い児童・生徒に対する取り組みは。

検証を終えて

本町議会は、行政事務のチェックだけでなく、27年9月から他町村に先駆け、独自の政策提言を行ってきた。

今回4回目の検証を行ったが、計画通りに進んでいない事業もあるので、今後も継続して提言や検証を行い、地方創生事業の成果を上げていきたい。

山中教育長 授業についていけない子どもは、個別の対応が必要になってくる。個に応じた指導を充実させて学力に課題のある児童・生徒の底上げをしている。中学校は、越知塾、小学校は、越知タイムや横倉タイムという時間を設定して取り組んでいる。



3回目となる30歳成人式には32名が参加した

一般会計補正



現在、市街地と市街地周辺は光回線を利用することができる

総務課

業務の内容は

町内ネットワーク簡易設計業務50万円

岡林 町内ネットワーク簡易設計業務の内容は、

内訳や見積もり

織田総務課長 来年度から始める光回線の整備にある程度の内訳や見積もりが必要であり、区域の設定や範囲を決定する費用である。

企画課

工事と原材料費の内容は

武智 公営住宅管理代行業務217万円、増えた理由は、

小舟団地排水管の修繕

織田総務課長 小舟団地2号棟と4号棟の外部の排水管の修繕である。

老朽化等で、途中のマンホールにたまり噴き出す、悪臭もする状況になっており、追加で修繕したい。

岡林 横島西部集落活動センターの手洗設備設置工事と原材料費5万円の内容は、

大原企画課長 コインランドリー室の手洗い設備予算が計上漏れとなっていたので対応している。原材料費は、浄化槽周辺の段差解消用碎石購入予算。

旅費の内容は

箭野 地域おこし協力隊の旅費21万円の内容は、

大原企画課長 ふるさと納税大感謝祭等の旅費である。

まち小屋 場所と内容は
越知まち小屋建築工事監理36万円

山橋 越知まち小屋建築工事監理36万円の場所と内容は、

大原企画課長 3区金光教の前の待避所付近。住民が買い物や通院途中に休憩するところ。



第1号となる越知まち小屋予定地(点線で囲った部分)

建設課

町道用地費等241万円

どの路線の用地費か

小田 公有財産購入費で町道用地費等241万円は、どの路線の用地費か。

前田建設課長 町道大樽線と役場前久万目線の用地費である。

臨時職員何人分か

箭野 地方道路整備交付金事業費の賃金427万円は、臨時職員何人分です。いつからいつまでか。

前田建設課長 4人の臨時職員の賃金である。期間は、7月〜12月までの6カ月間が主で、1人3カ月もいる。

何力所でどこか

岡林 橋梁補修設計業務委託料2575万円は、何力所でどこか。

前田建設課長 橋りょう点検の結果、修繕を要する部分の委託費で、4カ所である。

宮ヶ奈路1号橋、町道鎌井田浅尾線の浅尾橋、町道谷ノ内1号線の谷屋敷2号橋、野老山本線の堀切橋の修繕をする。

場所と内容を

電気通信設備支障移転補償166万円



支障電柱を移転する町道向屋敷池ノ上線

岡林 電気通信設備支障移転補償166万円の場所と内容を。

2路線の電柱移転

前田建設課長 2路線あり、1つは町道向屋敷池ノ上線の新設部分に対する補償で、NTTの電柱が4本、四国電力の電柱が3本ある。

もう1路線は、今成深瀬線でNTTの電柱1本、四国電力の電柱1本で、工事施工に支障があり移転をする。



改良工事が予定されている町道大樽線

プラスになっている理由を 学力向上サポーター謝礼金23万円

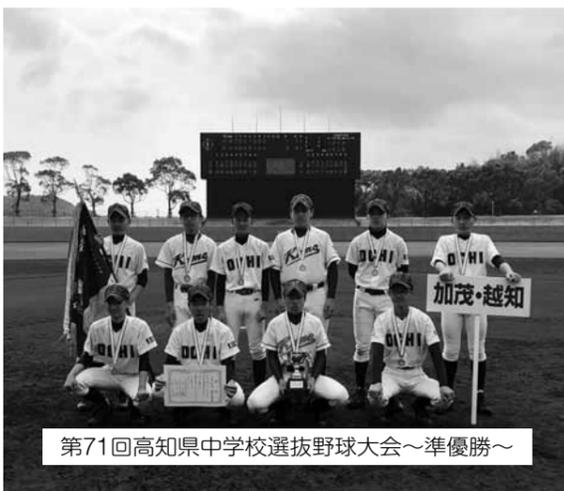


中学校で支援をする学力向上サポーター

【箭野】 学力向上サポーターの謝礼金がプラスになっている理由を。

1人増やす
谷岡教育次長 追加する1人分である。

初めて四国大会に出場した加茂・越知連合チーム



第71回高知県中学校選抜野球大会～準優勝～

中四国大会等出場費補助金 10万円 種目はなにか

【山橋】 中四国大会等出場費補助金10万円の種目は何か。
教育長 全国に行くとなれば対応を考えたい。

谷岡教育次長
バレーボール部等の補正予算である。

特別会計補正

環境水道課

場所と内容は

【森下】 8区汚水末端管渠布設工事の詳細設計業務の場所と内容は。

岡田環境水道課長 場所は8区の金比羅山周辺。町道向屋敷池ノ上線の新設工事に伴う汚水管布設である。

保健福祉課

減額理由は

【箭野】 介護保険料が減額になっているが、理由は。
國貞保健福祉課長 消費増税分を財源として、低所得者へ軽減が行われるため、介護保険料としては減額となる。

環境水道課

どこの施設を

【小田】 水道施設補助金40万円は、どこの施設をどのようにするのか。

黒瀬の取水ポンプ

岡田環境水道課長 黒瀬地区の取水ポンプ故障の修繕に対する補助金である。

専決処分

1032万円を追加
総額45億4905万円

総務課

30年度一般会計補正

地方交付税等歳入の最終額が確定したことに伴い、財源調整を行い、退職手当（組合）351万円、ふるさと応援基金元金681万円を追加した。
《承認・全員》

ふるさと応援基金元金681万円



滝上児童交流をはじめ、約70事業の財源となっている

町有財産の無償贈与

宝くじの助成事業で建築した集会所を「梅ノ森集落」代表者小崎秀彦に無償譲与する。
《承認・全員》

条例の制定

質疑

【武智議員】 運用の開始時期及び人材育成の手法と構想は。
前田建設課長 今年度から使用可能であり、毎年交付され基金に積む。

建設課

森林環境譲与税基金を設置

森林環境譲与税を森林整備及びその促進に要する経費の財源とするために基金を設置する。
《賛成・全員》

条例の制定

災害援護資金の貸し付け

災害援護資金の貸し付け条件の1つである連帯保証人の必置義務をなくし、保証人を立てる場合は無利子、保証人を立てない場合は据置期間経過後の貸付利率を延滞の場合を除き3%を1.5%に変更。
償還方法は、現行の年賦償還、半年賦償還に月賦償還を加える。
《賛成・全員》

税務課

国保の課税限度額と軽減対象基準を引き上げる

31年度以降の年度分の国民健康保険税から基礎課税額に係る課税限度額を61万円（現行58万円）に引き上げ、軽減対象となる所得の基準額を、5割軽減は28万円（現行27万5千円）に、2割軽減は51万円（現行50万円）にそれぞれ引き上げる。
《承認・全員》



間伐など適正な管理が難しくなっている

議会基本条例

介護保険料の軽減

消費税10パーセントの引き上げに伴い、低所得者影響分の保険料を軽減する。

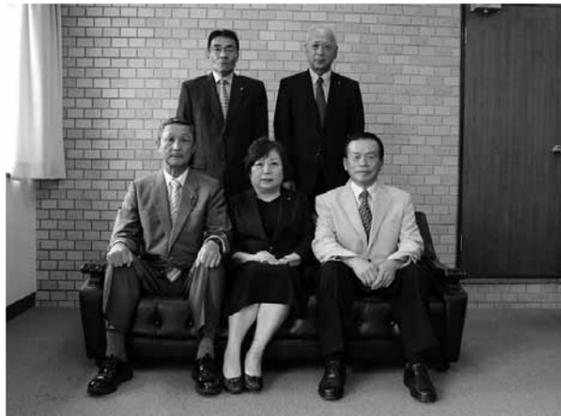
《賛成・全員》

飲供施設分担金

耐用年数を超過していない飲料水供給施設を再整備する場合の地元分担金は、過大な負担とならないようにする。

《賛成・全員》

議会改革に取り組む



推進会議のメンバーは5人

議会改革推進会議を設置

議会改革を継続的に取り組むため、議員で構成する議会改革推進会議を設置する。

《賛成・全員》

構成員に学識経験者を

議会改革推進会議に学識経験を有する者等を構成員として加えることができる。

人事

○人権擁護委員候補者の推薦
西川光一（再）越知甲



任期は、令和4年9月30日まで
《同意・全員》

6月定例会に提出された2件を全会一致で可決し、関係機関に提出しました。

意見書

新たな過疎対策法の制定

提出者 高橋丈一 議員
過疎地域に住み続ける住民にとって安心・安全に暮らせる地域として健全に維持されることは、同時に、都市をも含めた国民全体の安心、安全な生活に寄与するものであ

り、引き続き総合的な過疎対策を充実強化させることが必要であり、新たな過疎対策法の制定を強く要望する。

《賛成・全員》

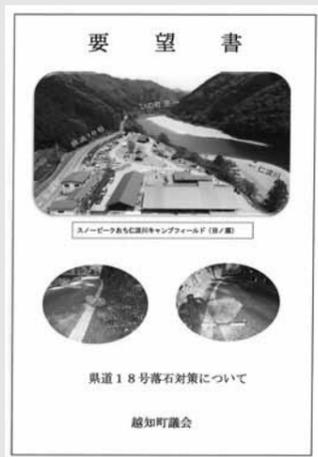
提出先 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、農林水産大臣、国土交通大臣



過疎債を活用している体育館や道路

県道18号緊急 落石対策 を要望

県道18号の越知く出来地間は、着々と拡幅改良を進められているが、未改良区間には急カーブもあり、落石も度々発生し、歩行者や通行車両が危険にさらされている。また、昨年4月にスノーピークおち仁淀川キャンプフィールドが日ノ瀬地区にオープンし、これまでに1万人を超える観光客が訪れている。この施設利用者は、国道33号と194号から県道18号を使つてのアクセス道となるが、行き違いが困難なためトラブルが増えている。



緊急を要することから先般の待避所設置の要望とは別に、本格改良までの緊急対策として、本区間の落石対策をしていただくたく、本町議会の総意として要望する。

《賛成・全員》

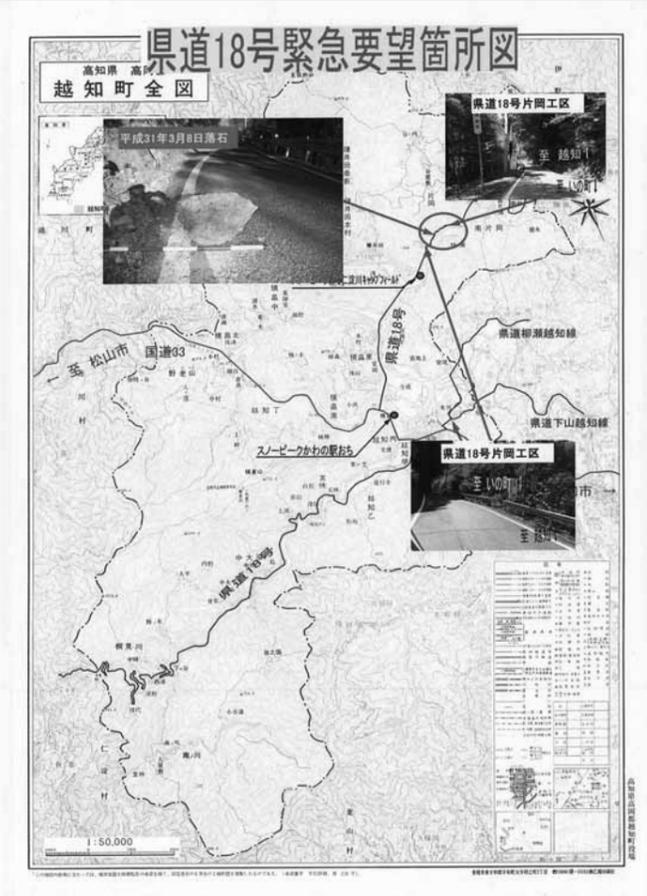
提出先 高知県知事、高知県議会議員



村田県土木部長に(右から2人目) 要望書を提出する寺村議長



左から、森下産建常任副委員長、武智産建常任委員長、寺村議長、桑名県議会議長、大野県議会議員



町政を問う

6月定例会は5人が一般質問を行いました。発言内容は紙面の都合で要約してまいりますので、ぜひ議場に足を運んでいただき、白熱した議論を傍聴してください。なお、全文を記載した会議録は、議会事務局と町のホームページ (<http://www.town.ochiie.jp>) でご覧下さい。

一般質問 5人登壇

市原静子・・・15ページ



- ① 移動期日前投票所 ワゴン車導入は
- ② 厳しすぎる取り締まり 打開策は
- ③ 8050問題 把握できている人数と対策は

武智 龍・・・16ページ



- ① 光通信 未整備地区の整備は
- ② 小規模農業の支援 集出荷の現状と成果は
- ③ 人材育成 子ども議会の開催準備は

箭野久美・・・17ページ



- ① 少子化対策 子育て世代の働く環境整備は
- ② 老朽化した公共施設 合同庁舎の計画は

高橋丈一・・・18ページ



- ① 教育行政 保幼再編の取り組みは
- ② 観光行政 地域ごとの情報発信は
- ③ 環境行政 野良猫の不妊手術に補助金を

山橋正男・・・19ページ



- ① 幼稚園授業料・保育料 全世帯無償となるか
- ② かわの駅おち 利用客と売り上げ見込みは
- ③ 横倉山 ニホンジカ対策は

移動期日前投票所

ワゴン車導入は

7月の参議院選挙から実施 総務課長



市原静子 議員



移動期日前投票所の配置確認をする職員

問 平成29年に移動期日前投票所としてワゴン車導入の考えを聞いたが、その後の取り組みは。

織田総務課長 いの町、仁淀川町の実施状況を検証し、有効な手段と考えられている。

本町もまず廃止となった地区の区長さんと協議し、試行的に7月の参議院議員選挙から始めたい。

8050問題

把握できている人数と対策は 把握できていない 保健福祉課長

問 全国調査で中高年の引きこもりが61万人以上いるという報告があるが、「8050問題」の解決に向け、本町で把握できている人数と対策は。

国民保健福祉課長 把握はしていないが、高齢の親御さんから「家にこもっている、働き盛りにもかかわらず働かない」などの相談は年間数例ある。

生活困窮者支援制度の利用や生活保護の申請の支援など就労につないだ例もあり、その都度関係機関と連携を取り支援を行っている。

国民保健福祉課長 内閣府によると、53・2パーセントが相談しない、したくないと回答しており、町内の家族も隠しておきたいという声が多い。相談しやすい窓口体制にし、また、課内での対応技術の向上も図ってほしい。

厳しすぎる取り締まり

打開策は 今後の検討課題である 町長

問 「買い物中の厳しすぎる取り締まりは、店の売り上げにも影響する。なんとかならないか」と店主の怒りの声が上がっている。

打開策として、毎月1回開く商工会議に警察署員も参加してもらってはどうか。

また、自由に駐車できる場所を確保してもらいたいと思うが、考えは。

小田町長 これまで何回となく佐川署長、交通課長にも、その都度話をしてきた経緯もあり、商工会議への出席の話もできると思う。駐車場は、土地のこともあり今後の検討課題である。

8050問題 引きこもりの子を持つ家庭が高齢化し、50代の中高年の引きこもりの子を80代の後期高齢者にさしかかった親が面倒を見るケースが増えているという社会問題のこと

相談窓口の設置は 問 孤立する前に訪問支援ができ、いつでも相談できる窓口の設置を。



高橋 隆弘 議員

光通信

未整備地区の整備は 令和2年度から公設でやる 総務課長

問 光通信の未整備地区内には35の事業所があり、230人ぐらいが働いているが、整備はどうなっているのか。

織田総務課長 令和2年度から公設でインターネットのみ整備することにした。

財政的には余裕がないが可能な範囲で進めたいと考え、どこから整備するか、県や総務省とも協議し、国庫補助事業のスケジュールを意識しながら検討している。

小規模農業の支援 集出荷の現状と成果は

問 大桐地区と横島地区で行っている農産物の集出荷の現状と成果は。

田村産業課長 30年度は、中大平地区が9人で337万円、桐見川地区が8人で37万円、横島西部地区が7人で21万円だ。

問 おち町だけでさばき切れない物は、町外や高知市の「とさのさと」などへ回すと地産外商が進むが、支援体制を検討する考えはないか。

田村産業課長 農家が希望する場合は、JAや生産部会と協議するなど、状況に応じて考えたい。

12月に開催する

山中教育長 校長と協議し、本年12月に開催することになっている。

生徒が行政職と議員側に分かれ、町の活性化や未来について論議し、審議可決した内容を町へ提案したい。

リーダーやまちづくりの人材育成につながっていくと考え。

その他の質問

問 本町の住家や避難所等の耐震化の現状と今後の推進計画は。

上田危機管理課長 平成29年度までに耐震改修された住宅は54棟で、56年6月以降の耐震性のある住宅を合わせると耐震化率は約35%だ。令和7年度には67%を目指す。

人材育成

子ども議会の開催準備は

問 平成29年12月議会での提案に対し、教育長が答弁で示した中学生による子ども議会の開催準備は進んでいるか。

目指す。



既設の無線通信は、処理速度が遅い

光通信ができるネット環境が待ち遠しい

町全域に広げる考えは

問 高齢化が進んでいるが、今後町全域に広げる考えはないか。

田村産業課長 明治方面から声が出ており、地区ごとに方法など複合的に考えなければならない。

問 人口の自然減は過去最高で、合計特殊出生率も1.42人で3年連続低下している。

子育て支援や労働生産性の向上が課題であると思うが、どのような対策をとってきたか。

小田町長 5年間子育て支援対策を行ってきたが、結果は非常に厳しいと感じている。

(保健室で休めるのは1時間程度)等「越知モデル」を検討する考えは。

谷岡教育次長 ①医療機関で対応。②町が施設を設置し、看護師、保育士等人的配置をする。③近隣町村で実施等検討している。

山中教育長 本年3月に実施した子育て支援に関するアンケート調査の結果報告において、病児・病後児保育の利用希望者は増えている。再度詳しい調査を行い、財源確保を考えて、越知モデルを検討したい。

●合計特殊出生率
1人の女性が生涯に産むことが見込まれる子どもの数を示す指標。年齢ごとに区分された女子人口に対する出生数の比率を年齢別出生率といい、合計特殊出生率は15～49歳の年齢別出生率の合計である。

少子化対策

子育て世代の働く環境整備は できる限りやっていきたい 町長



矢野 久美 議員

問 様々な要因があると思うが、その対策の一つとして子育て世代の親が安心して働ける環境を整備する必要があるが、考えは。

小田町長 国として考えていただくことが非常に多いと思うが、できる限りやっていきたい。

問 病児・病後児保育または児童生徒が登校後に具合が悪くなり保護者が迎えに来るまで休む場所



心も身体も休めます

老朽化した公共施設 合同庁舎の計画は

財源的な問題がある 町長

問 老朽化した公共施設、教育機関と役場機能をマッチさせて合同庁舎にすることで、都市計画やまちづくりメリットがあると思うが、計画は。

小田町長 必要性を感じているが、財源的な問題がある。

山中教育長 教育機関の施設は、長寿命化計画・個別計画を策定し、財政負担が集中しないよう年度計画を立てる。

長期のグランドデザインは持たなければならぬが、当分の間は今ある施設を活用しながら教育効果の向上を図りたい。



高橋文一 議員



幼稚園(上)と保育園(下)

教育行政

保幼再編の取り組みは 計画案の作業をしている 教育長

問 保幼再編の取り組みの現状と今後は、

物を大切にしないのは
どういうことか。
今後の対策は。

山中教育長 幼児教育の向上を図り、環境構成に重点を置いて計画案の作業をしている。

試案ができた後検討委員会を開催し、その後総合教育会議や議員協議会で意見を聞き、最終的な計画にしたい。

問 中学校野球部が補助グラウンドで練習をしている北側の草地へ飛び込んだボールの所在を教えなくても拾いに行かない。

議員副町長 物を粗末に扱わない意識が希薄になっている。
今回の案件は見過ぎることのできない事案であり、今後十分な対策を講じて、周知徹底を図る。

山中教育長 野球部のボールの取り扱いには、教育の責任者として深くお詫びする。
物を大事にする教育は基本的なもので、人間性の育成を指導していく。

環境行政

野良猫の不妊手術に補助金を 助成の上乗せ等検討する

環境水道課長

問 横島、野老山、小日浦地区など、新しく観光への取り組みを始めた地域で、誘客のため情報発信をしているが、限界がある。
対策は。

大原企画課長 観光PRなどに地域おこし協力隊を2人採用し、地域の人と連携を取り合っている。協力隊のSNS(フェイスブック等)、また町のホームページで情報更新をしている。

問 野良猫が庭に排便をしていく、何とかしてほしいという声があるが、不妊手術等の補助金対策はできないか。

岡田環境水道課長 飼いの主のいない猫と飼い猫との繁殖を防止することを目的に、不妊去勢手術は不幸な命を減らす有効な方法であり、助成の上乗せ等の対応を検討する。

観光行政

地域ごとの情報発信は 協力隊のSNSなどで発信

企画課長

幼稚園授業料・保育料

全世帯無償となるか

3〜5歳は無償化 教育長

問 10月から幼稚園、保育園は全世帯が所得制限なしで無償となるか。また、給食費はどうなるか。

山中教育長 幼稚園、保育園の3〜5歳児は、所得制限なしで無償となる。給食費は今までどおり徴収となるが、年収360万円未満の世帯は、免除措置があり、所得階層にかかわらず、第3子以降は無償となる。

問 保育園の0歳〜2歳児の保育料はどうなるか。

山中教育長 住民税非課税世帯のみが無償化の対象となる。

かわの駅おち

利用客と売り上げ見込みは

センターハウスは3万6000人で約2550万円 企画課長



オープンで賑わうセンターハウス

問 「スノーピークかわの駅おち」がオープンした。本年度の「住箱」、センターハウス、カヌーの貸し出し利用客と売り上げ見込みは。

大原企画課長 センターハウスは3万6000人で約2550万円。住箱は390人で340万円。カヌーは延べ310人で約184万円の売り上げを見込んでいる。

問 物品販売の町内外の店舗数は。
正社員を含め従業員数と町内の雇用はどのようになっているか。

大原企画課長 町内は20店舗。町外が29社。従業員は5人。内訳は正社員2人、準社員1人、パートが2人。全員町内で採用している。パートは、2人追加募集している。

横倉山

ニホンジカ対策は

問 新聞記事で、横倉山にニホンジカが出没したとの報道があった。

横倉山は植物の宝庫で絶滅危惧種に指定されたものもあるが、対策は。

山中教育長 自動撮影装置を空地、杉原神社周辺に設置したところ、ニホンジカが撮影されたので生息していることが確認された。
有害鳥獣として捕獲を実施することを高知県鳥獣対策課が検討している。

その他の質問

問 町道浅尾谷口線の未改修の側溝のふた掛けの計画は。

前田建設課長 社会資本整備総合交付金事業を利用して今年度と来年度に全線のふた掛けをする。

交流報告

滝上町と交流

友好交流町の滝上町と交流を行ってきました。

滝上町の概要

北海道滝上町は、人口2618人、世帯数1422世帯（平成30年9月1日現在）、総面積766・89平方キロメートル。令和元年度一般会計当初予算は42億5055万円。

交流の経緯

平成9年に滝上高知県人会発足を契機に交流が始まり、平成13年7月に両町の友好交流町調印が交わされた。以来、民間、児童、物産交流、そして町職員の派遣交流など順調に交流を重ね、互いの絆を深めてきた。

観光交流

芝ざくらといえは滝上町と言うだけあって、山一面がピンクのコントラストと10万平方メートル（甲子園7個分）というスケールの大きさに圧倒される。観光事業の柱の一つで、経済効果があり、大きな雇用となっていることが実感できる。園内の除草作業には手間がかかっている。ピーク時には、12万人が訪れていたようであるが、現在は、約4万人まで減少している。



芝ざくらまつりの説明を受ける議員

物産交流



道の駅には、本町の特産品の芋けんぴなどが、売り場の中心に置かれ販売されており、物産交流を確認した。逆に「スノーピークかわの駅おち」には、滝上町の特産品であるハッカを使ったハッカスプレーなどを置くことよいのではないか。

本町での今後の取り組み

観光交流と意見交換交流会を開催し、短い時間ではあるが気持ち一つになれたと確信した。地理的にも、農業面でも、様々な面で大きく異なる両町ではあるが、逆にそのことが、災害などでは助け合える利点がある。少子高齢化など諸課題を情報共有し、互いに助け合いながら解決していく。今後も両町が発展するように議会同士の交流を大切にしていきたい。

本町での今後の取り組み

議員協議会で、研修で学んだことをすぐに実行に移すことを確認した。6月定例会で基本条例を改正し、議会改革を継続的・不断に取り組むため、議会改革に特化した専門の会を置く必要があるとの結論に至り、「議会改革推進会議」を設置する。また、1年に1回は、条例の目的が達成されているかを点検するように「1年ごとに」を明記し、町民の負託に応えていく。

研修報告

栗山町議会で議会改革を学ぶ

全国で最初に議会基本条例を制定した北海道栗山町議会で議会改革の研修を行った。

栗山町の概要

北海道栗山町は、人口1万1688人、世帯数5827世帯（平成31年4月1日現在）。令和元年度一般会計当初予算は85億1100万円。

議会の概要

議員定数は、12人。議員の平均年齢は、64・8歳。議員報酬は、196千円。政務活動費は、月額2万円。

議会改革の背景

会議が常に住民に公開され、緊張感を持って執行部と対峙し、町に先行して議案をつくり、本会議で委員長が提案。監視型議会から脱皮し、提案権、修正権等、住民の目線において行動する議会へ。

自ら考え、自らの研修をすべて議員によるものとするため、政務活動費を導入。

推進会議

（越知町議員）推進会議設置の目的は、（栗山町議員）自由な論議をし、議会改革を機動的に行う目的で議会改革推進会議を設置した。

議会モニター

（越知町議員）議会モニターとは、（栗山町議員）議会の傍聴、政務活動費の使い

基本条例の抜粋

町民や団体との意見交換のための議会主催による一般会議の設置。町民から議会運営に関し提言を聴取する議会モニターを設置。有識者に政策づくりへの助言をしてもらう議員サポーターの導入など。



議員改革について意見を交わす

北海道胆振東部地震

厚真町の地震災害

議会議員から地震発生時の状況や対応等の話を聞き、意見交換して被災地を視察した。

厚真町の概要

北海道厚真町は、人口4559人、世帯数2142世帯（平成31年4月1日現在）、総面積404.61平方キロメートル。令和元年度一般会計当初予算は125億8500万円。

発生状況

発生日時 平成30年9月6日午前3時7分
震源地 胆振地方中東部
震度 7（厚真町）

被害状況

人的被害 死者36人
重軽症者61人
物的被害
住家全壊224棟、半壊318棟、一部損壊1092棟
非住家 全壊661棟、半壊161棟、一部損壊1301棟
被害額 823億円
避難所数 7カ所
避難者数 最大1181人

情報共有の重要性

庁内（災害対策本部内）の情報共有が希薄となり、被災者に対し、明確な情報発信ができなかった。
議会は、災害対策支援本部を設置しておらず、各セクション単独で判断し行動したことを反省している。



至る所で山腹が崩壊している



厚真ダムに大量の土砂と流木

プライバシーの確保

発災3日目から段階的にベッドを導入、発災2週間後、仕切りカーテンを導入、避難所開設から2週間で一定のプライバシーを守ることができた。

被災者への対応

フェーズの変化を先取りし、対応していくことが重要である。

本町での今後の取り組み

平成29年3月に災害対策支援本部を設置しており、組織で動くことを最優先にする。
被災地視察で訓練の重要性を確認しているが、実施できていない。近い将来高い確率で起こるといわれている南海トラフ地震に備え、訓練を実施する。

●フェーズ
変化する過程の二区切り、局面、段階。

小野あがわ荘所長 経験のない看護師はいない。

田元湖水園所長 他の職種の職員とも共同で業務にあたっており、過度の負担になっていない。

問 看護師の応募が少ない。
答 採用試験の最終年齢を引き上げては

採用試験の最終年齢を45歳まで引き上げては。

50歳未満まで引き上げ

大石組合長 看護師採用試験の最終年齢は40歳であったが、多く受験してもらったため、今年10月採用予定から年齢要件を50歳未満まで引き上げる。

広域議会

第2回定例会が、6月3日に開かれ、30年度一般会計継続費繰越計算書の報告1件を全会一致で承認しました。
一般質問には、2人が登壇しました。

組合長報告

清掃センター整備工事は最終年度となる

29年度からの3年間の継続事業となる清掃センター1基幹的施設整備工事は、最終年度となる今年度は、5月から1号焼却

一般質問

市原 静子 議員（越知町）

施設内での看護職の改善



入所者に看護師の資格を持つベテラン職員が寄り添う（春日荘）

問 経験のない看護師の育成はできているのか、経験のある限られた人だけの仕事になっていないか、また負担がひとり多くかかっているのか。

堅田春日荘所長 現在3人のベテランがそろっており、限られた職員に業務が集中することは起きている。

藤原五葉荘所長 経験のない看護師の育成は、一定の水準で達成している。ベテランの看護師と同じ質・量の業務を遂行している。

山尾もみじ荘所長 広域を退職した看護師が週2〜3日臨時勤務をし、経験のない看護師の育成と業務の負担軽減に努めている。

プラスチックごみの対応は

問 環境省は国内で産業廃棄物として排出されたプラスチックごみを市区町村の焼却施設等で積極的に受け入れるよう要請したとの記事が載っていたが、組合の対応は。

岡崎清掃センター長

環境対策課、産業廃棄物取り扱い業者に確認したが、現状では組合で処理対応が必要になることはないだろうとの回答であった。
関係3町や県の状況を見ながら適切な対応をとっていく。

竹本文直 議員（仁淀川町）